

寒い冬の時期のお風呂でほっとするひとときは最高の時間ですね。ただ、そこには「ヒートショック」という危険が潜んでいます。「ヒートショック」とは、暖かい部屋から寒い部屋への移動など、温度の急な変化が体に与えるショックのこと。気温の変化によって血圧が乱高下し、脳内出血や脳梗塞などを引き起こすため、最悪の場合は死に至ることがあります。冬場は、暖房の効いたリビングなどと比べると、浴室や脱衣場は寒暖差が大きくなります。ご高齢の方や、高血圧、動脈硬化など疾患がある方は特に危険です。ヒートショックを防ぐためには、リビングと浴

室、脱衣場の温度差をできるだけ少なくすることが必要です。具体的には、①入浴前に浴室や脱衣所をあらかじめ暖めておく、②浴槽のお湯の温度は41度以下、お湯に浸かるのは10分以内、③入浴前に水分をとる、などです。さらに、入浴前に家族に一声かけておくことさらに安心です。安全な入浴方法で、体に負担なくお風呂を楽しみましょう。

入浴時は特に危険！
～ヒートショックを防ごう～

入浴時の注意点

①浴室や脱衣所をあらかじめ暖めておく

②浴槽のお湯の温度は41度以下、お湯に浸かるのは10分以内

③入浴前に水分をとる

https://tenki.jp/

日本気象協会 小野 聡子

特別顧問	丹羽 晟 元理事長、日本空港ビルデング顧問 本保 芳明 (初代観光庁長官)
理事長	大島 慎子 (国立大学法人 筑波技術大学監事)
副理事長	岡村 進 (元小田急トラベル社長)
事務局長	杉 行夫 (理事) 事務局次長 堤 るり (理事)
支部長	魚住 隆彰 (北陸:元北陸鉄道相談役) 長尾 亜夫 (九州:西日本鉄道相談役)
理事	須田 寛 (東海旅客鉄道相談役) 寺前秀一 (元加賀市長) 分家静男 (元射水市長) 阿部和義 (経済ジャーナリスト) 山田早苗 (元近畿日本ツーリスト) 利光國夫 (小田急電鉄特別社友) 近藤節夫 (日本ペンクラブ前理事) 長尾亜夫 (西日本鉄道相談役) 北村 嵩 (元JT B取締役) 澤田利彦 (松蔭大学 学長補佐) 今井 智康 (ケーアンドケーロドス(株)代表取締役) 河西宏和 (日本観光学会最高顧問) 角 廣志 (特定非営利活動法人ふるさとテレビ副理事長) 望月義人 (筑波学院大学学長) 大西啓義 (アクティビジネス(株)代表取締役) 高橋俊朗 (元(株)小田急レストランシステム取締役社長) 辛島保馬 (元JT B国会担当、佐藤和弘公認会計事務所相談役)
団体会員	アイエスカンパニー 一般財団法人NHK インターナショナル 株式会社えんれいしゃ 小田急電鉄株式会社 関西電力株式会社 九州旅客鉄道株式会社 社団法人くらしのリサーチセンター 株式会社グリーンキャブ 株式会社耕人舎 株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド 三普旅行社有限公司 四国旅客鉄道株式会社 新菱冷熱工業株式会社 住友電設株式会社 セントラルリーシングシステム株式会社 大成建設株式会社 大成設備株式会社 大成有楽不動産株式会社 株式会社丹青社 第一交通産業株式会社 株式会社ダイエーコンサルタンツ 中国電力株式会社 一般社団法人中央日本総合観光機構 東海旅客鉄道株式会社 東急建設株式会社 東急電鉄株式会社 財団法人東京観光財団 西日本鉄道株式会社 西日本旅客鉄道株式会社 公益社団法人日本観光振興協会中部支部 日本空港ビルデング株式会社 専門学校日本ホテルスクール 羽田旅客サービス株式会社 株式会社バロックジャパンリミテッド 広島電鉄株式会社 福岡空港ビルディング株式会社 北海道空港株式会社 株式会社ホテル小田急 ホテルメトロポリタン マイナミホールディングス株式会社 モバイルクリエイティブ株式会社 株式会社まるまんフィオーレ 三菱電機株式会社

編集後記： 2019年の訪日外客数は3188万2千人で前年対比2.2%の増加であった。過去5年間の訪日客数の伸び率と比べると、秋に台風による関西空港の冠水や北海道での地震があり後半に減速した2018年の伸び率でも8.7%であり、それ以前の17年19.4%、16年21.8%、15年47.1%、14年29.4%より大幅に伸び率が低下している▼主たる要因は韓国入客の急減である。日韓関係が悪化した下半期に訪日客数が半減する状況が続く、前年より25.9%減の558.5万人となり、訪日客全体に占める韓国入客の割合は前年の約4分の1から17%に減少した。韓国を除く19市場では過去最高を記録している▼政府目標の2020年訪日客数4000万人を達成するには今年25%位伸ばす必要がある。昨年未のJT Bの発表によると、2020年の訪日外客数は3430万人になる見込みだという。韓国入客は19年比15%の回復に留まり、東京五輪・パラリンピックによる観客増も、期間中の混雑や価格高騰で訪日避ける動きが出る予測している▼目標達成はかなり厳しい状況だが、田端浩観光庁長官は、東京オリンピック・パラリンピックによって海外からの注目が増え、航空座席も増える絶好の機会なので目標達成に向けて官民一体で取り組むと語った▼昨年の訪日客の内、韓国を除く国の合計の伸び率は11.2%増であった。訪日客数が100万人を超えた国の内、中国が14.5%、タイが16.5%、米国が12.9%と高い伸び率を示したが、訪日客数が約500万人弱の台湾は2.8%増、約230万人の香港は3.8%増と、それぞれ総統選挙やデモ騒ぎの為、伸び率が近年に比べ低かった。韓国を除く国の合計伸び率がプラス15%で、韓国が一昨年の数値まで回復するとすれば3800万人近くまで到達するがどうなることやら?▼東京オリンピック、パラリンピックは7月末から9月にかけて開催される。夏休み旅行の時期と重なる。旅費高騰と混雑で訪日回避を心配する向きもあるが、訪日客の8割以上を占めるアジアの旅行者は、直行便の関係などで大阪、京都、九州など東京ではなく西日本を旅行する比率が高く、必ずしもオリンピックと競合しない可能性も高い▼台風や地震など災害の影響、国際政治の緊張関係での政情不安、中国での新型コロナウイルスの拡散など不安定要素もあるが、目標達成には、穏やかな一年であることを願う▼昨年のラグビーワールドカップ日本大会では、訪日数では40万人位であったが、滞在が長く消費額は大きかったため、低迷していた旅行消費額の伸びに貢献した。これからは、人数の目標だけでなく消費額をいかに増やすかの施策にも力を入れてもらいたい。(北村)

特定非営利活動法人《NPO》

JAPAN NOW

観光情報協会

東京都新宿区西新宿 2-7-1
小田急第一生命ビル5S5
〒160-0023

電話 03(5989)0902
FAX 03(5989)0903
E-mail info@japannow.org
HP www.japannow.org/

発行人：大島 慎子
編集長：北村 嵩
発行部数：3,000部
主な配布先：会員、中央官庁、地方自治体、民間企業、マスコミなど



第129号 発行日 2020年 1月30日

CONTENTS

- ・P1-大島理事長年頭所感 / 行政の話題
- ・P2-会員新年挨拶
- ・P3-隠れた光を求めて◎ / COLUMN
- ・P4-南京大虐殺記念館 / NEW SPOT ◎
- ・P5-アンテナショップめぐり・新潟県
- ・P6-アメリカこぼれ話 65 / 教皇の裁き
- ・P7-摩周丸の話題◎ / 観光立国セミナー報告
- ・P8-気象と天気の話 / 編集後記

写真『太宰府天満宮 曲水の宴』(福岡県太宰府天満宮)
毎年3月第1日曜日に曲水の庭で催される。平安装束を纏った詠み人は、自分の前の水路に酒杯が流れてくるまでに詩歌を詠み、流れてきた杯を戴く。雅な平安宮中行事を再現した禊祓の神事。期間中庭には定員制の観覧席が設けられる。

大島理事長 年頭所感

いよいよ2020年東京五輪の年明けで、インバウンド4000万人を迎える準備が最終段階となっています。同時にオリンピック後の観光客の動向や日本経済を、過去の開催都市の状況と比較するコメントが多いようです。

昨年のラグビーのワールドカップでは、スポーツツーリズムの成功の要因はインフラ整備やPRなどの要素も必要であるが、観客とアスリートが感動を共有できることが第一であると証明したと思います。

現在観光客は確実に増加し、また各地域で地域活性化のために交流人口をふやす、観光資源を発掘するという活動は盛んですが、観光客の増加に伴いオーバーツーリズム、すなわち地域が耐えられる以上の観光客が押し寄せ、地域の環境や生活を変質させる観光公害がすでに社会問題化しています。

オーバーツーリズムは世界的には1992年のオリンピック開催地バルセロナを筆頭に、ベニス、マチュピチュなどの観光都市が有名ですが、日本も京都、鎌倉などすでに課題で観光客の規制を検討しています。当協会としては観光立国を啓蒙するという設立当初の目的から一歩進み、質の高い観光とは何かを考え、発信していきたいと思っています。

観光は地域にとっても訪問者にとっても楽しい時間、貴重な思い出であるべきです。そして爆買いやインスタ映えする写真をとることだけが目的ではなく、貴重な観光資源を地域住民との交流により体験することが重要です。本年は、見学会等の企画も更にふさわしいものにすべく、海外からの意見も学べるように充実させたいと思いますので、皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

大島 慎子

昨年2019年の年間訪日外客数は前年比2.2%増の3,188万2千人! 旅行消費総額は6.5%増の4兆8千億円、7年連続で過去最高

JNTOの発表によると、2019年の訪日外客数は前年比2.2%増の3,188万2千人で、JNTOが統計を取り始めた1964年以降、最多となり、韓国を除く19か国で過去最高を記録した。しかし、政府目標の2020年4千万人を達成するためには今年25%の伸びが必要である。一方、外国人による旅行消費額も過去最高の4兆8千億円となったが、一人当たり消費額は15万8千円にとどまり、政府目標の20年8兆円を達成するためには一人当たり20万円の消費が必要な計算だ。田端浩観光庁長官は、昨年のラグビーW杯期間中は滞在日数が長く、消費額が伸びた実績を挙げ、滞在日数の短いアジアからの観光客に、もう1泊か2泊滞在を増やせるよう観光コンテンツを向上させ、東京五輪での海外からの注目度や航空座席数増加を機会に、政府目標の2020年「訪日客数4千万人、消費額8兆円達成」に向けて官民一体で取り組む、と語った。外客数の伸び率は、韓国市場で昨年8月以降訪日外客数が半減し、訪日客全体に占める割合が約4分の1から17%に減少した。韓国を除く東アジア市場すべてで前年を上回った。東南アジア市場では主要市場での航空座席数の増加で後半に高い伸びとなり15.2%増、欧米豪市場は、ラグビーワールドカップ開催などの後押しにより、13.9%増と好調な伸びを示した。市場別では、中国が959万4千人となり全市場で初めて950万人台に達したほか、英国が、ラグビーワールドカップ2019日本大会開催中の9月10月に前年同月比80%増を超える伸び率を示し初めて40万人を突破した。2020年には、東京オリンピック、パラリンピックが開催され、訪日外客の集客に貢献が期待されるが、開催期間中の、東京地域の混雑と旅行費高騰に対する過度の警戒、回避が起こらないよう、他の地域への誘導促進を図るプロモーションが必要である。そして期間中に台風や洪水などの災害が発生しないよう切に願いたい。

JN Web サイト パスワード ユーザー名 パスワード

※「Web(ウェブ)サイト」=これまで一般にホームページと呼ばれていたもの。今、「ホームページ」と呼ぶのは、サイトのトップページ(表紙)を指します。

国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所代表 本保 芳明

新年明けましておめでとうございます。

いよいよオリンピック・パラリンピックの年。米中貿易摩擦、米・イラン間の緊張の高まり等国際環境は予断を許さないものがあり、ビッグ・イベントの開催地としてテロ懸念等不安材料があるものの、国民的祝祭への期待感が高まっています。

オリンピックは、そのレガシーを以て、評価されることから、様々な分野でレガシーの検証が必要されますが、観光は、最大の検証対象となると思われます。オリンピックの中長期的な経済効果という点では、観光の貢献度が最大とされており、観光が成否の鍵を握るからです。また、政策的にも、2020年を目指して、政府が集中的に様々な措置を講じてきており、その効果検証が必要とされるからです。折しも、日本のインバウンドは、旅行者数3千万人の大台を超え、国際的にも大きな存在となる一方で、一時の高度成長期を終えて、低成長期入りの様相を明らかにするなど、日本の観光は一つの転換期を迎えているように見えます。観光分野におけるオリンピック・レガシーの客観的・冷静な分析を通じて、世界における日本の観光の今日の姿を再確認し、明日の日本の観光を目指して、新たな歩みを開始することを期待して新年のご挨拶とさせていただきます。



JN 協会副理事長 岡村 進

夢の修学・産業観光旅行

近年、グローバル社会を生き抜くための教育議論が盛んであるが、私は、知識や知見だけでなく、日本民族独特の人情の機微に通じた、真の教養人を育む、青少年の情操教育が肝要であると考えます。かつてNHKはプロジェクトX(挑戦者たち)というドキュメンタリードラマを放送した。これは高度成長期に至る時期の、新幹線などの民間企業の巨大プロジェクトを成功させた、無名の日本人の組織と群像に焦点を当て、ドキュメンタリータッチで、さりげなく人情の機微、仲間意識を描き出し、多くの人々を感動させた映像作品でした。

先般、当協会の須田理事は、修学・産業観光旅行を提案されました。これは青少年に、日本のものづくりの精神を学んでもらう機会を与える素晴らしい教育提案だと思います。

私がお正月に見た夢は、修学・産業観光旅行を受け入れる企業が、公的資金を得て、プロジェクトXのようなドキュメンタリー映像を制作し、青少年に鑑賞してもらい、人情の機微や仲間意識の大切さを教えるという、真の教養人づくりに貢献している姿でありました。

かの太宰治曰く、「真の教養人とは優れた知識を持つことだけではなく、人情の機微に通じた人を云うのである」と。

東海旅客鉄道株式会社 (JR 東海) 相談役 須田 寛

新年おめでとうございます。

年頭にあたり皆様方の益々の御健勝、御発展を祈念申し上げます。今年日本でオリンピックが開催される記念すべき年となります。「観光立国」への歩みも「オリンピック年」を迎えてさらに加速していかなければなりません。

日本観光振興協会(産業観光推進協議会)では今年の「産業観光」を「教育」との密接な連携のもとに進めたいと考えております。観光の正しい意味を次代を担う青少年諸君に教育を通じて理解をして貰う必要を痛感したからであります。具体的には①「出張授業」の実施(小中学校の課外授業の中に地域の「ものづくり」を取上げるようお願いし、求められれば講師派遣等も行なう)②社会科「副読本」(地域のものづくり等)の制作・編集への支援協力③「修学(教育)旅行」の行程に「産業観光」を加えること等を自治体、教育団体等に呼びかけていくことといたしました。青少年の教育のなかで自分の生まれ育った地域への理解が大切であり、そのためには地域の基盤である「ものづくり」への理解が出发点になると考えたからであります。その努力をさらに「産業観光」に発展させれば居住地以外の「ものづくり」への理解も深まり、それが地域間の交流促進につながると確信しております。「産業観光」を通じて「地域」、さらに「国」への真の理解を深めることこそ「観光立国」実現への大きい前進にもなることと、この1年精一杯の努力を続ける所存であります。

関係各位のご指導ご支援のほど今年もよろしくお願ひ申し上げます。

JN 協会事務局長 杉 行夫

TBS テレビの日曜日、午後6時からの「世界遺産」の後に放送されていた、「バナナマンのまるごとグルメ」で紹介された旅館「鯛屋」旅館に泊まった。ここ松阪は本居宣長や三井家に縁のある地。松阪牛でも有名。1泊2食・1万8千円。夕食に松阪牛のすき焼きが出る。そこに、「アマネム」のことを聞いた。「アマネム」は賢島にあるという。

志摩観光ホテルのさきの、ゴルフ場の東に「アマネム」があった。しかし、ガードが難く建物さえ見ることができない。東南アジアを中心に宿泊施設を展開する「アマン東京」があり、2019年「アマン京都」がオープンした。「アマン京都」は24室・1泊11万～。1棟貸しの「パビリオン」は80万円～。(日経2019.11.26) 12.2. テレビ東京で放映された「Youは何しに日本へ」に同志社卒業のチリ人女性が、京都・丹後の伊根(NHKの朝ドラの舞台?)の民宿(「えびすや」)跡を改装。1泊25万～30万で営業すると言う。デービット・アトキンだったか、常々1泊200万～300万を支払う層が世界には大勢いると言う。

また、12.8.の日経に、官房長官の談話として「世界の一流ホテルを国内に50箇所設ける」と表明した。もう一息で我が国にも世界に伍する宿泊施設が生まれるのだろうか。

津軽海峡を結んだ青函連絡「摩周丸」(2)

汽笛を「聞く」、旗を「みる」、語る(元)連絡線

保存船摩周丸の新しい試みは、船と船の挨拶です。摩周丸の繋留されている若松埠頭にクルーズ船用の棧橋が増設され数万トン級の大型船も含むクルーズ船が摩周丸に隣接し碇泊するようになった。

これを機に摩周丸がクルーズ船入港の際マストに国際信号旗 UW2 旗(歓迎・ようこそその意)を掲げ、出港していく際には UW 旗(ご安航を祈るの意)を掲げ長三声の汽笛で見送る等歓迎のあいさつを「旗」と「汽笛」で試みるようになった。するととっさのこと(クルーズ船側にはこのような歓迎のあいさつを旗と



UW 旗を掲げて、わかれの挨拶(安航を祈る)をする摩周丸(手前)から、UW1 旗(謝意を示す)を掲げて出航していくクルーズ船をのぞむ。写真提供: 語りつく青函連絡船の会

汽笛で行なうことは事前通知していない)に拘らず何隻かの船が、UWI(ご協力に感謝の意)を掲げ答礼の「長三声」の汽笛を後に出航する情景がみられたと聞く。そしてクルーズ船のデッキから多くの乗客が摩周丸、函館港にむかって大きく手をふってわかれの挨拶をした由である。即ち船と船とがあいさつを「旗」と「汽笛」で交換、それに乗客が唱和してくれたことになる。

観光は観光客と観光地の人々が何等かのコミュニケーションをはかることによって、真の観光にまで高まると考えられる。

摩周丸とクルーズ船は、船と船との間に「旗」と「汽笛」を介してささやかな対話「コミュニケーション」を成立させたのである。まさに真の観光を象徴するものといえよう。「旗」「汽笛」がこの観光を実現したのであり船同士の対話こそ大きい新しい観光資源といえます。(完)



青函連絡船記念館摩周丸 北海道函館市若松町12番地先 https://www.mashumaru.com/

第158回 観光立国セミナー 令和元年 12月27日

インバウンド 4000 万人超えの展望と課題

元JTBワールド社長、元松蔭大学教授、当協会理事 北村 嵩氏

北村さんはJTBに勤務し役員までただけに業界のことは詳しい。大学の教授もして知識もあり、今、話題になっているテーマで2時間近く話をした。北村さんはこの会の長老である須田寛氏(元JR東海相談役)らと「新世代の観光立国 令和世代の課題と展望」という本を令和元年8月に交通新聞社から出版したばかり。この中で北村さんは第二部の中のIIで講演のテーマを書いている。

今や日本は観光立国が成功して年間4000万人の観光客が来るようになってきた。小泉首相の観光立国宣言をした時代にまだ訪日外国人数が約500万人強の時代からするとすごい伸びである。それだけに北村さんは京都の例を挙げながらオーバーツーリズムの弊害を話した。京都の人たちは押し寄せてくる外国人の観光客にごみをはじめコンビニ店での混乱などで迷惑をしており、「もうこれ以上来てくれないでよい」という悲鳴が上がっている。和服で有名な京都市長も「これまでにしてほしい。インフラ整備が間に合わない」と話していることを北村さんは紹介した。

オーバーツーリズムの海外の例としてアムステルダム、ベネチア、バルセロナなどの例を挙げて説明した。話し終わったのは午後2時過ぎになっていたが質問が出て2時30分ぐらいまで北村さんは丁寧に答えていた。

■第160回観光立国セミナーは2月14日(金)に伊藤芳明氏(毎日新聞社、TBSラジオ火曜日朝8時 森本毅朗の番組レギュラー出演)を講師にお招きして開催します。詳細はJNホームページでご確認ください。演題:「レバノンとゴーン、イランとアメリカ他」《事前予約制》

第159回 観光立国セミナー 令和2年 1月17日

平成から積み残した観光日本の課題

松蔭大学学長補佐、元JNTO理事、当協会理事 澤田 利彦氏

澤田さんも当協会が昨年8月に出版した「新世代の観光立国」の共同執筆者で、執筆された「平成から積み残した観光日本の課題」を中心に話された。

前段で、訪日外客数の推移や現状の分析、デービット・アトキンソン氏の著書「新・観光立国論」と彼の近著「国運の分岐点」による国家グランドデザイン作成の緊急性について紹介された。日本は縄文時代から江戸時代まで何度も壊滅的な自然災害に見舞われた災害大国であり、その度に協力しながら復興させてきた。今後確実に来る大災害に耐えうる都市改造が必要である。

本題では1)ゴミ屋敷問題 2)騒音公害問題 3)花粉症震源地・南多摩人工林放置問題 4)景観保存・修復 5)遅々として進まない無電柱化 6)シェアリングエコノミーの台頭への対応 Airbnb や Uber 7)海外における観光日本のブランド力の維持 → 観光日本・東京・京都は現在世界トップ などについて具体的な事例を紹介しながら問題点を指摘された。

最後に澤田さんの「私の提案」として、大胆な都市改造を進めることにより将来の災害の影響は減らせるのではないかと、又、相対的に日本が遅れをとっているAI・ITなど先端技術分野で、この分野に特化した一貫教育機関を設立し、英才教育を施して世界をリードしていくことが急務であるなどの提言をされた。



元 JTB 取締役 北村 嵩

明治末期、ロシアとの戦争が避けられなくなったとき、日本政府が起債した戦争公債を売り込む為に、当時の日銀副総裁・高橋是清がアメリカ、イギリスに派遣された。アメリカではどこも引き受け手がなく、同盟国イギリスに渡り、金融王ロスチャイルドに融資を依頼したが、断られてしまった。このときロスチャイルドはロシア、カスピ海のバクー油田の利権を獲得し、表立ってロシアと対立できなかったといわれている。何とかロンドン・シティの銀行から500万ポンドの引き受けを取り付けたが、残りの500万ポンドの引き受け手が現れない。欧州の大国ロシア帝国相手に勝てるわけが無い、日本政府には支払い能力がないなどの理由で難航していた。そのときに現れたのが、ジェイコブ・シフ。ニューヨークのクーン・ローブ商会グループの総師であり銀行家であった。シフはフランクフルト生まれのドイツ系ユダヤ人で1865年18歳のときに渡米。金融関係の仕事に従事した後、クーン・ローブ商会に入社し、経営者ソロモン・ローブの娘と結婚し社を急成長させた人物である。シフは高橋に残りの500万ポンドの引き受けを約束した。

シフは冷酷なビジネスマンで、リスクゆえに相場より高い日本公債の金利に目を付けた面もあるが、より大きな理由は、当時帝政ロシアで進行していたユダヤ人への暴行、迫害“ポグロム”に苦しむロシア在住のユダヤ人に対する同胞愛であった。虐殺陵辱を受けた同胞への報復の為、ロシア皇帝へ軍事的制裁を下すべく、日本の戦費調達への協力であった。日露戦争終了後の1906年、シフは日本政府に招聘されて訪日し、明治天皇より最高勲章の“旭日大綬章”を贈られた。

シフの帝政ロシア打倒工作は徹底しており、ユダヤ金融資本の国際ネットワークを駆使して、欧米の銀行にロシアの戦争公債引き受けを拒絶させた。ロシア革命時には、レーニンやトロツキーに資金を提供して、帝政ロシアと戦い続けた。

シフ家は500年以上の歴史を誇り、初代ロスチャイルドのマイヤー・アムシェル・ロスチャイルドがフランクフルトのゲッターで住んでいた「グリーン・シールド(緑の盾)」の半分に共有して住んでいた。後年シフ家はロスチャイルドの代理人となり、重要な役割を果たした。

尚、“ポグロム”とは1881年ロシア皇帝アレキサンドルII世がナロードニキに暗殺されたのを機に、後継者アレクサンドルIII世が暗殺をユダヤ人のせいだと民衆を唆し、暴徒化した民衆が1万5千人のユダヤ人を襲撃・虐殺した事件のことを指す。ロシア語では暴動という意味である。1905、1917年にも“ポグロム”は起こっている。ミュージカル「屋根の上のバイオリン弾き」はこの時代の敬虔なユダヤ人一家を主人公とした物語で、迫り来るポグロムを逃れて旅に出るという話で、日本でも森繁久弥が牛乳屋テレビエを演じロングランしたので鑑賞された方も居られよう。

教皇への裁き

小田急電鉄株式会社 特別社友 利光 國夫

私は一応カトリック教徒である。一応というのはいわゆる「幼児洗礼」を受けたので、私自身の意思でカトリック教徒になったわけではないからである。それでも幼少の頃から日曜日やクリスマスなどのカトリックの祝日には習慣として教会へ行っていた。現在は殆ど教義を信じているわけではないが、今更どこかのお寺の檀家になるというわけにもいかないの、カトリック教会に籍を置いているに過ぎない。そんな私ではあるが、やはり長年にわたって教徒であった結果物事の価値観、人生観にはカトリックの影響が大きいことは確かである。だから先般のフランシスコ教皇の来日にはそれなりの関心があった。



フランシスコ第266代ローマ教皇 (在位: 2013年3月13日-) 写真: wikipedia

教皇の来日時に於ける言動についての感想だが、一言でいえば「失望」というに尽きる。教皇は広島、長崎の原爆被災地を訪れて核兵器廃絶を説いたが、そもそも我が国は原爆を落とされた側であり、加害者は教皇と同じくイエス・キリストを神として崇めるキリスト教国である。

これはメディアの情報だが、教皇は帰路の機内で「中国が好きだ。北京訪問を希望している」と言ったそうだが、その中国は過去数十回もウイグル等で地上核実験を行い多くの被爆者を出している。現在もウイグル、チベット等を侵略し、香港では自国民に血の弾圧を加えて省みない。中国では長らくキリスト教会は地下教会として潜んでいたが、最近司教の任命権を餌にして教皇庁の取り込みを狙っているようだ。

新約聖書のなかでイエス・キリストが最も厳しく指弾しているのは、盗賊や人殺し、あるいは売春婦などではなく偽善者である。ユダヤ教の司祭であるパリサイ人こそが偽善者として徹底的に指弾され、神によって地獄に墮とされるというのが聖書の教え示すところである。

フランシスコ教皇の言動にたいして、イエスキリストはどのような裁きを下さすであろうか。



イギリスのウィルトシャー州マルムズベリー修道院に展示されているラテン語で手書きされた聖書。1407年に修道院で読み上げるためにベルギーで書かれた。

隠れた「光を求めて」⑧ — 新しい観光資源 —

“古墳を見る”

JR東海相談役 須田 寛

このほど大阪府の「百舌鳥、古市古墳群」がユネスコの世界遺産に登録されました。

堺市の仁徳天皇陵(百舌鳥耳原中陵) 羽曳野市の応神天皇陵(恵我藻伏岡陵)には既に大勢の人が訪れるようになったという。古墳とはいうまでもなく主として神話時代から奈良時代にかけて地方の豪族の墓として造営されたもので上述の両天皇陵はエジプトのピラミッドに匹敵する世界最大級の墳墓とされている。

日本の古墳といえばさきに飛鳥地方の古墳群が、壁画、出土品の実堀等で話題となり多くの観光客が訪れるきっかけとなった。

今回の場合は地域的なひろがりが大きく、又壮大な古墳群が都市内に点在するので今後盛んになるであろう新しい「古墳群の観光」をどう展開するか一考を要する。

気がかりなのは、古墳はあくまで「墓」であり静かな環境を保つとともに周辺の風物と調和して秀れた景観を形成しているのもそのような環境が古墳観光ブームで破壊されはしないかということがある。従ってブームが盛り上がりつつある現在「古墳観光」にふさわしい正しい観光を提案していく必要がある

まず「墓」であることを認識し敬虔な気持ちで接することが必要だ。次に古墳が周辺の自然と調和するように造営され、そこには永年秀れた景観を保持してきたことにかんがみ、このような古墳をめぐる環境保全に留意した観光を心掛ける必要がある。



仁徳天皇陵

古墳を訪れることはいわば「墓まいり」である。「墓参り」の常識としてわれわれは墓とその周辺を清掃したり除草したりしている。その行動は「墓まいり」に付帯するごく自然な行動である。古墳観光の際もこのこと

を思い出し周辺の清掃(ゴミ拾い等)活動をごく自然に観光客が行なうような慣行とならないものだろうか。又主な古墳には案内も兼ねてこのような観光客の活動を支援する地元のボランティアがいるとよいと思う。

同時に古墳は歴史の凝縮されたものでもあるから、その被葬者、古墳の沿革等を説明した掲示等が必要となろう。このようにすれば「古墳観光」は、自然(環境)保全活動に参加する歴史(学習)観光としてそこに大きい意義と役割を見出すことができよう。

「古墳観光」ブームを前にこのような「古墳観光」のマナーなりルールを固めておくことが必要なのではなからうか。

JAPANNOW128号「隠れた光を求めて⑦」の文中に誤りがありました。下記のように訂正させていただきます。
隠れた光を求めて「地名をみる」の拙稿中、全国に同名の都市がいくつか存在するが、高田市もその一つである…陸前高田市、大和高田市、安芸高田市と合併で消えた新潟県(元)高田市の四市としておりますが「豊後高田市」が欠落しておりました。現在四市、(元)高田市を加えると五市が正当でありますので訂正させていただきます。
誤った「情報」を寄稿したことをお詫び申し上げます。(須田寛)

COLUMN メートル法とヤード・ポンド法

度量衡の計測・表示は、一部の国を除いて現在ほとんどメートル法で行われている。メートル法を採用していない国は、僅かにアメリカとリベリア、ミャンマーだけとなった。そのリベリアとミャンマーもすでにメートル法に移行しつつある。

こうなるとスポーツ界を始め多方面で世界をリードしているアメリカだけが、単位がやや一貫性に欠け、完全な10進法ではないヤード・ポンド法(例:1ヤード=3フィート、1フット=12インチ、1ポンド=16オンス)に執着していることが面倒で煩わしい。

カナダでは1976年のモントリオール・オリンピックを機にメートル法を採用した。オリンピック開催の前年カナダを訪れた時、道路標識はすべてヤードとメートルの2本立てで表示されていた。ところが、オリンピックが終わって再びカナダを訪れたところ、ヤード表示は消えメートル表示1本に統一され、随分すっきりした印象を受けたものである。

昨年ワールドカップ開催で日本中を熱狂させたラグビーのフィールド「コート」内の「5、10、22メートルライン」は、かつて「5、10、25ヤードライン」と呼ばれていた。その後ラグビー

界でもメートル法を採用入れるようになり、それぞれ元のヤードラインとあまり隔たりのない範囲内にメートル表示のラインを調整、設定し、そう呼ぶようになった。

アメリカで人気のあるスポーツの中でも、野球、アメリカン・フットボール、アイスホッケーはフィートで表示され、バスケットボールはメートル、ゴルフはヤードで表示され、ボクシングは階級とグラブなどすべてポンドで表示され頭がこんがらがりそうになる。

アメリカがヤード・ポンド法を廃止してメートル法を採用しさえすれば、世界はメートル法一本に統一されすっきりする。道路標識は一目瞭然となり、宇宙開発など科学分野の世界でも貴重な資料の活用面で一層理解し易くなるものと考えられる。

どうしてアメリカはいつまでも「ヤード・ポンド法」に拘って、世界と歩調を合わせようとしめないのか不思議でならない。ルールはすべて世界のリーダーたるアメリカが決めるという、不遜な「アメリカ・ファースト」の押しつけでなければ、幸いなのだが・・・。

エッセイスト 近藤 節夫

南京大虐殺記念館

観光学博士 寺前 秀一



南京大虐殺記念館

LCCの深夜便利
利用で1泊3日の
南京、蘇州、杭州
旅行をした。南京
大虐殺記念館
(写真1)は、数字
は別にして史実
として確定して

いるにもかかわらず、観光資源としてはやや期待外れ。西湖のほとりで見つけた大韓民国臨時政府杭州旧址記念館(写真2)は、これだけ日韓がエキサイトしているのに、観光資源としては全く機能していなかった。

五輪期間中の高騰も噂されている中国線のチケットだが、今は、諸税に座席指定料金やクレジット手数料を入れても羽田・上海 往復25000円だから、国内旅行と変わらない。スマホで簡単に予約決済ができる。おまけに国内の新幹線も予約・決済が可能で、駅でパスポートを見せれば発券してくれる。蘇州・杭州間1800円の新幹線普通運賃に対し、200円の手数料を取っていたから、ネット旅行会社としても立派だ。

江蘇省、浙江省等の大都市は地下鉄が整備され、相互に新幹線で連絡されている。運行本数も多いうえに、拠点駅も複数ある。セキュリティチェックがあるにもかかわらず、混乱

もなく捌いているのを見ると、いずれ日本の鉄道会社が参考にする時代が来るのかと思うくらいである。世界遺産である観光資源も、パスポートを見せると無料で入れてくれた。70歳を過ぎていることが確認できるからだ。

中国は、米国に次いで大きな航空市場を抱えている。その規模は日本のJRの輸送量を超えている。一千万人都市が14も存在するのだから当然といえば当然である。機材、乗員の規模も大きく、その余力をもってすれば、格安航空券が販売できる。そのうち、日本の国内航空輸送も中国系航空会社で席巻されるかもしれない。

1997年のアジア通貨危機、2003年のSARS流行発生時、香港経済はボロボロになった。その際に中国政府が行った中国人観光客の送迎等の「経済融合」政策が香港で非常に歓迎を受け、香港問題の根源は経済にあるという中国政府の認識ができたといわれる。香港返還記念日には毎年のように、北京の指導者がいわゆるビッグプレゼントを持ってやってくる。これが15年続いて2018年には人口730万人の香港に年間延べ5100万人もの中国人観光客が来るようになっていく。

中国政府が本気になって観光政策を活用する時代には、人口が十分の一の日本は、人口比が米国の十分の一であるカナダと同じような位置づけになってしまうのだろうか。



大韓民国臨時政府杭州旧址記念館

NEW SPOT in Japan 78

大山詣り

神奈川県西部、丹沢山地東麓の大山(標高1,252m)の信仰登山と歴史散策を楽しむ大山詣りが近年人気だ。東京都心から約50キロと近く、大山地域の観光客は地元伊勢原市の最新データで一昨年99万人。毎年1~3万人の増加傾向だ。開山は古く奈良・東大寺創建に尽力した良弁僧正が大山寺を中腹に建立し、山頂の石尊大権現とともに修験の聖地となった。江戸時代中後期に集団参拝する大山講が広まり江戸の人口100万人のころ年20万人も関東一円から訪れたという。

大山はよく雲や霧がかかり別名を雨降山と呼ばれ、雨乞い、五穀豊穡を願うことから、頂の岩に神々が降りる山岳信仰の大権現はのちに阿夫利神社(上社)となる。古典落語にもある「大山詣り」は、長屋の男衆が揃って出かける行楽半分、信心半分の旅。道中で腹を立てたものは二分の罰金、暴れたら丸坊主という約束を交わしながらのどんでん返し。ご利益は往路だけでは不足だと「大山帰り」も人気を集めた。歌舞伎の清元に出てくる演目「山帰強枯梗」は帰途の男たちを描く。昔の女を思い出しながら山頂から遠望する江の島へ向かう観光気分ストーリーだ。

現代の大山詣りは小田急線新宿から約1時間、伊勢原駅



海拔1,252メートル大山山頂の阿夫利神社奥社

下車、バス25分ほどの終点から独楽職人が宮んだ由来の「こま参道」の土産店や食事処が並ぶ362段を登る。大山ケーブルで阿夫利神社(下社)に行き頂上の上社までゆっくり歩いて約2時間。復路は1時間半ほどだが石段の下りは結構きつい。「学び」と「旅」をコラボした小田急主催「まなたび」は大山街道・国道246ルートを赤坂御門から三軒茶屋、二子玉川、厚木、伊勢原を通り山頂まで7日に分け1日6、7キロをほぼ月ごとに歩く。帰りは富士を背に伊勢原―寒川―藤沢―江の島―鎌倉―横浜―川崎大師―品川―日本橋まで、江戸のころと遊び方は異なるが故事旧跡をたどりながらの健康ウォーキングは楽しい。 文・写真 林 莊祐

観光の縮図アンテナショップめぐり ⑩

「表参道・新潟館ネスパス」新潟県アンテナショップ



新潟県のアンテナショップ「表参道・新潟館ネスパス(N' ESPACE)」はおしゃれな高級ブランドの旗艦店が並ぶ表参道にある。表参道地区は、アンテナショップの激戦地である銀座と異なり、近隣には、少し離れた場所に位置する福井県のアンテナショップがあるのみで、新潟県の、このアンテナショップはユニークな存在である。

設立は1997年で、2019年には設立22周年を迎えた。店名の「N' ESPACE」の「N」は新潟/ネットワーク、「ESPASE」はフランス語で空間やスペースを意味する。ネスパスは「食」を中心とした新潟県産品の販売やイベントの開催、観光情報やUターン就職情報の提供により新潟の新鮮情報を発信するアンテナショップであり、公益財団法人にいがた産業創造機構が運営している。

建物の1階には、米、酒、笹団子など新潟の人気の商品を取り扱う物産販売店舗「新潟食楽園」、気軽に新潟の味と清酒が味わえる「立ち呑みBAR COCO」、そして新潟の旬の味が楽しめる会席・和食の店「にいがたの味 静香庵」がある。また、物産販売店舗の奥にはイベントスペースがあり、週末を中心に県内各地の食や観光地を紹介するイベントが行われる。取材の当日には笹団子作り体験教室が行われており、10名ほどの親子連れが熱心に笹団子作りに挑戦していた。



立ち呑みBAR COCO



笹団子

新潟食楽園を運営する株式会社ゆのたにの名古屋妙子物産館リーダーによると、売れ筋のNo.1は笹団子だそうで、かりんとう饅頭、栃尾の油揚げ、サーモンの塩辛などの人気も高い。日本酒では、県外でなかなか手に入らない「鶴の友」や、白ワインのような味わいが特徴の「イット

キー」などが人気で、久保田、越乃寒梅など酒どころ新潟の名酒も並んでいる。お米では魚沼産コシヒカリなど高品質な米が好まれているようだ。ネスパスは「食」を中心とするショップであるが、三条のカトラリー類は入口近くで販売されている。

地下1階にはお食事処「新潟食楽園」があり、カジュアルな居酒屋風のレストランで、気軽に新潟の郷土料理が楽しめる。人気のメニューは、ふのりそば、タレカツ丼(薄いヒレカツを甘辛いタレにくぐらせたもの)、鯛茶づけなどだそうだ。

2階には新潟県観光協会の東京観光センターがあり、県内観光地のパンフレットや、県内のイベント情報が提供されている。経験豊かなスタッフが新潟の旅をサポートすると共に、オリジナルプランなどの予約、手配まで行っていることが特徴で、都内のアンテナショップでは唯一だという。

また2階には、新潟へのU・Iターンを考えている社会人や学生に、仕事と暮らしの両面でサポートする「にいがたUターン情報センター」「新潟移住支援デスク・コココムにいがた」がある。

説明して頂いた(公財)にいがた産業創造機構の斎藤美帆さんによると、表参道は外国人観光客にも人気のエリアなので、今後はさらにインバウンド客を取り込んでいきたいという。



2階観光コーナー



新潟の銘酒コーナー



三条のカトラリー



- 物産販売：営業時間 10:30 ~ 19:30 年内無休
- B1 お食事処「新潟食楽園」年中無休 <<営業時間は要確認
- 会食・和食「にいがたの味 静香庵」日・祝・お盆・年末年始は定休 情報はWebサイトで確認を⇒ <https://www.nico.or.jp/nospace/>